

文化

6

立川と語ろう 立川に生きよう
June 2004
écoutez bien Vol.22 No.235





川は現在の生きものをはくむだけでなく、大昔の地球活動や古代の生きものからのメッセージも伝える。上流から運ばれた石やまき出しになった川底、岸の地層から思わぬ発見がある。多摩川は化石探しの場所としても知られる。

川に学ぶ

多摩川畔の化石探し



川原に降りて岩石や化石を探す



秋川、浅川を含む多摩川流域では第8回でご紹介したアキシマクジラの他に、ナウマンゾウ、アケボノゾウ、シフゾウといった古代の動物たちの化石が各地で出土している。そうした大発見でなくても、身近な川岸で地質時代の名残が見られる。

あきる野市在住で立川市文化財保護審議会委員をつとめる樽良平さんは、多くの観察会や勉強会で案内役をつとめている。子どもを対象にした催しでは、川原に落ちている石の種類やそれぞれの出来方、ハンマーなどを使った化石探しなどを分かりやすく教え、大人が対象の化石観察会では範囲を少し広げて、地層の特色などを詳しく説明してくれる。

軟らかい火山灰なら子どもでも簡単に割れ、中から木の葉や貝などの化石が見つかる。水中の生きものすみ穴だったサンドパイプがそこここにあり、JR中央線鉄橋の少し上流には、メタセコイアの切り株の化石。すぐ足もとに太古のロマンが埋まっている。

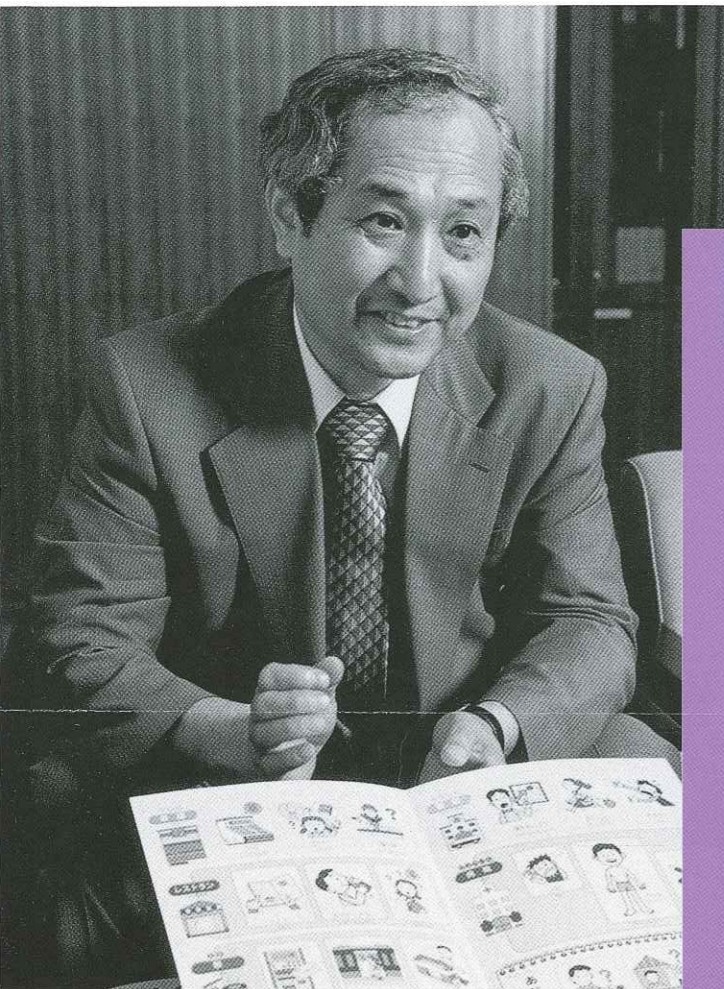


メタセコイアの切り株の化石を見る



小さな化石はルーペで

立川から広がるコミュニケーションの輪



都立武蔵台養護学校校長
三室 秀雄さん

■三室秀雄（みむろ・ひでお）／1951年東京生まれ。大阪大学を卒業後、教員として東京都内の養護学校に勤務。都立立川養護学校校長を経て立川養護学校校長時代にコミュニケーション支援ボードを利用した地域ぐるみのコミュニケーションバリアフリーの試みを立川で始める。養護学校の移転により2004年4月より都立武蔵台養護学校（府中市）校長をつとめる。
■芳賀敏博（はが・としひろ）／えくてびあんの編集人

於：府中市 都立武蔵台養護学校
写真：中村 伸

芳賀 羽衣町にあった都立立川養護学校が移転し、新しい校舎に初めてうかがったんですが、明るくて廊下も広々としていますね。

三室 4月にオープンしたばかりです。新しいだけにバリアフリーなども進んでいるんですよ。立川養護学校は37年間立川でお世話になりましたが手狭になったこともあって、こちらに移ってきました。でも、立川のお子さんたちも引き続きこちらに来ているので、気分的には変わりませんね。

芳賀 昨年、三室先生たちが働きかけて、コミュニケーション支援ボードを地域で活用する「心の通いあうまち」の運動が立川を中心に始まりました。全国にさがかけて立川でこのような取り組みが

実現したのは、どういうきっかけだったんですか？

三室 言葉によるコミュニケーションがむずかしい自閉症児などが自分の意思を伝えるのに絵カードを使うことは以前から行われていました。その場合、本人が絵カードを持ち歩かなければなりませんしカードの数も限られます。それを絵記号のボードにして、地域全体でそれを活用できないかと全国知的障害養護学校校長会と安田生命社会事業団（現・明治安田こころの健康財団）を中心にボードを開発しました。それを地域で活用するモデル事業を立川の青木久市長にご相談したらすぐに応じていただいた。そして、これは特に申し上げておきたいんですが、立川市障害者後援会にお世話になり

ました。商工会議所などの方々も加わったこのような組織があるというのは全国的に見てもすごいことです。おかげで地域の方たちにもスムーズに受け入れていただけました。私たち学校関係者、福祉関係者だけの運動だったら、こうはいかなかったと思います。

芳賀 立川から始まった取り組みが、今度は全国規模でこの支援ボードの普及を図る運動に発展しているそうですね。

三室 立川では合計4000枚のボードを、使い方のマニュアルと一緒にいろいろなところに置いていただきました。そこで実際に使っていたご意見も取り入れて、全国版の支援ボード10万枚を作りました。例えば、警察の方から外国の方向けに英語も入れた方が使いやすいというご意見があって、全国版の方では英語表記も入れるなど改良されています。

芳賀 ああ！ コミュニケーション支援というのは、知的障害の方だけじゃなくて、いろんな局面で役に立つんですね。

三室 そうです。私は肢体不自由養護学校の経験も長いんですが、からだの障害で言葉が出にくいお子さんとか、耳が不自由で手話の使えない方とかにとってもこのボードは役に立ちます。障害がなくても言葉の分からない外国に行った時はレストランで注文をするのさえ困ってしまいますよね。コミュニケーション支援ボードは、ファミリーレストランのメニューのようなもので、見てすぐに分かり、指差すだけで意思を伝えられるツールだと考えていただければいいと思います。配っているものはサンプルで、使う人それぞれの立場で使いやすい絵記号の組み合わせを工夫してオリジナルの支援ボードを作っていただきたい。実際に、歯科医の方がオリジナルのボードを作られているんですが、障害のある方だけでなく子どもの患者さんにも使えるという

んです。郵便局の方が郵便局用のカードを作ったり、いろいろな使い方が広がってきています。

芳賀 コミュニケーションというのは人と人をつなぐ基盤ですからね。どこに行ってもこういうボードがあるようになれば、障害のあるなしにかかわらずコミュニケーションの風通しがいい社会になる！

三室 自閉症のお子さんは彼らなりにいっしょうけんめいなんです。それでもコミュニケーションがうまくいかないのでパニックを起こす。するとこの子はパニックを起こす子だと見られてしまう。他と基準が違うので理解してもらいにくいんです。その子なりのコミュニケーションの方法が社会の中に伝わっていけば、本当にふつうに暮らしていけるだろうと思うんです。これは理想論かもしれませんが……。

芳賀 立川から始まったコミュニケーション支援ボードの運動は、その理想に向けての一步といっているじゃないですか。

三室 そう。そして、それを応援しようとしてくれる方たちがこれだけいらっしゃるということに力づけられました。全国規模で10万枚のカードを作ったといっても、全国には盲、聾、肢体不自由を含めた養護学校が約1000校あります。1校当たり100枚では、使い方の訓練にはなっても地域に広く使っていただくにはとても足りませんが、夢は大きく持ちたいですね。本当のところ、最初に立川市長さんにお話しした時、こちらが話半分の大きな話をしたかなと思ったんです（笑）。ところが始まったら予想以上の広がりになり、青木市長さんがオーストラリアで開かれたインフォメーションデザインの国際シンポジウムで講演して国際的にも注目されました。私自身、この支援ボード運動を通じて今まで知らなかったいろいろな分野の方と知り合うことができた。これは驚きでしたね。

芳賀 支援ボードがみんなのコミュニケーションの輪を広げる力を持って

いるのかもしれないよ。ひとつひとつは小さな取り組みでも、それが定着して障害のある方がもっとふつうに社会のなかに出ていけるようになるというですね。

三室 ひと昔前に比べたら、ずいぶん変わってきていると思います。例えばテレビ番組で、障害のある主人公の恋愛ドラマが増えてきています。木村拓哉さんと車椅子の方（常磐貴子さん）との恋愛ドラマがありましたよね。『光とともに』という自閉症を正面から取り上げたドラマも始まっています。このようなドラマを通じて、障害のあるお子さんへの理解が深まることはとてもありがたい。地域の方たちの理解ということでは、立川、とりわけ学校のあった羽衣町の方たちには大変お世話になりましたし、今度移転してきましたら地元の武蔵台の商店街の方たちが「障害のあるお子さんたちとどう接したらいいだろうか」と10人ほどいらしたんです。こちらは、お店にご迷惑をかけないようにお話ししたのですが、みなさんは朝の挨拶をはじめ、いろいろなつながりを持ちたいとおっしゃる。私の方がびびりしてしまいました。その時もこの支援ボードをお配りしましたが、地域の方たちがいろいろな意味で理解してくださっているんだなと思いました。

芳賀 バリアフリーで建物や街の段差をなくすように、コミュニケーションもバリアフリーになっていかなければね。立川も運動の本家としてがんばらなくちゃ（笑）。

三室 コミュニケーション支援ボードや使い方マニュアルは著作権を放棄しているので、どなたが使われてもけっこうです。明治安田こころの健康財団のホームページ（http://www.my-kokoro.jp/）からダウンロードしていただけるので、これをもとにオリジナルのボードを作るなど、どんどん活用してください。

カフェテリア 木の葉	柴崎町2-17-23 522-9251
カレーショップ 砂時計	柴崎町2-18-10 525-2414
クリーンデンタルクリニック	柴崎町2-21-12 527-1137
ビューティーサロン ウィスタリア	柴崎町2-21-15 527-1116
ロッテリア 立川南口店	柴崎町3-1-3 522-3928
とんかつ専門 かつ亀	柴崎町3-5-2 525-7647
西武信用金庫 立川南口店	柴崎町3-5-15 529-1311
毛糸 手芸 洋裁材料 HATOYA	柴崎町3-5-21 524-8108
多摩中央信用金庫 立川南口店	柴崎町3-5-22 528-2211
サンカメラ	柴崎町3-7-22 522-3336
パッケージプラザ カサイ	柴崎町3-8-7 522-8601
りそな銀行 立川支店	柴崎町3-10-1 522-4161
手打ち ぎょうざ工房	柴崎町3-11-25 522-4770
こむろ 酒店	柴崎町3-14-3 522-2613
喫茶 ギャラリー 花	柴崎町3-14-6-1F 524-3668
矢沢 歯科眼科	柴崎町3-16-2 525-6600
株式会社京王ストア 立川店	柴崎町3-18-10 540-1131
ジャガー 立川	柴崎町6-15-23 524-5859
NPO法人 東京 賢治の学校	柴崎町6-20-37 523-7112
株式会社 浅見 酒店	富士見町1-2-7 522-2823

えくてびあんの輪
立川と語ろう 立川に生きよう
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります
今月は柴崎町・富士見町のお店です。

伊藤 接骨院	富士見町1-4-29 524-7861
手作りケーキの店 プティパニエ	富士見町1-22-30 529-8364
(株)山田 電機	富士見町1-24-9 526-1044
株式会社ダイクマ 立川店	富士見町1-24-9 526-1046
井上レディスクリニック	富士見町1-26-9 529-0111
中華レストラン 東華園	富士見町1-27-10 529-0458
榎本 調剤薬局	富士見町1-31-18 526-2322
うさぎ専門店 ラッキーラビット	富士見町2-11-7 524-6054
一級建築士事務所 株式会社 ホーミー	富士見町2-12-3 522-2220
家庭料理の店 つくし	富士見町2-12-10 526-6016
有限会社 白洋舎	富士見町2-24-16 522-5952
波多野 米店	富士見町2-32-34 522-2884
桜井電材株式会社	富士見町3-2-13 523-5281
立川歴史民俗資料館	富士見町3-12-34 525-0860
室内装飾専門店 株式会社 アイアイ	富士見町4-9-8 522-5972
多摩中央信用金庫 富士見町支店	富士見町4-9-22 528-1741
酒 ESPOA おぎの	富士見町4-17-7 522-4500
株式会社 一如社	富士見町2-1-9 527-2211
株式会社 立川印刷所	富士見町5-6-15 524-3268
SHOP99 立川富士見町店	富士見町6-15-3 540-1799

ここにも、戦場があった

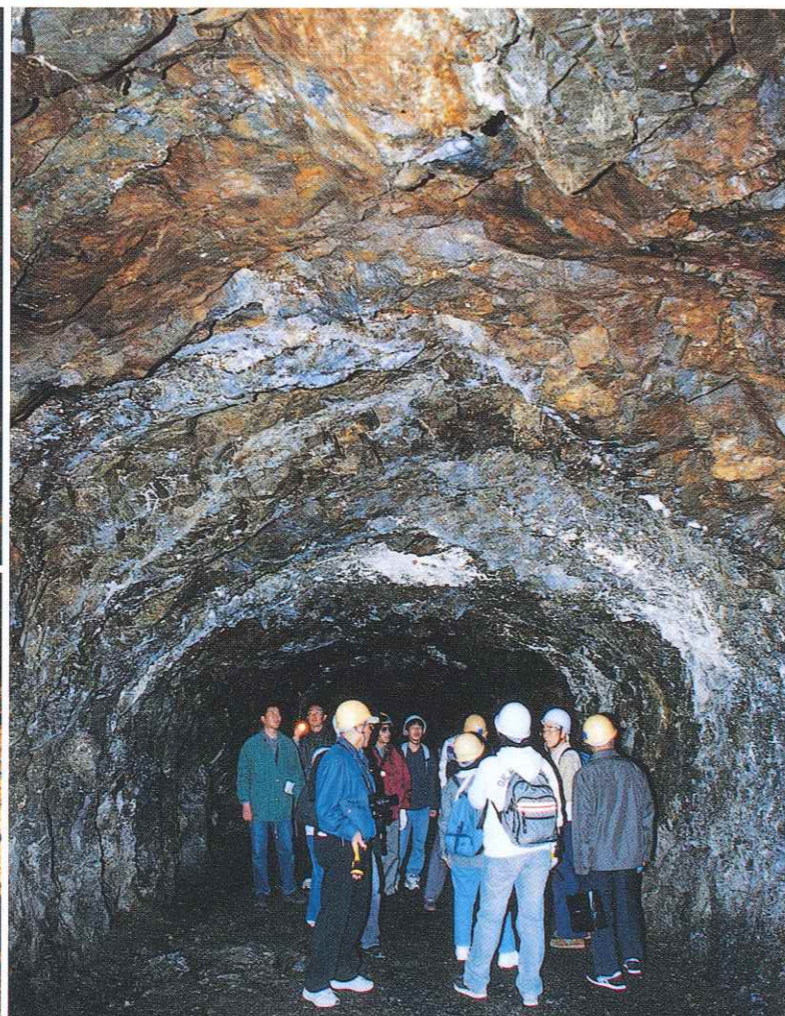
立川公民館主催・戦争史跡見学会

第二次大戦中、旧陸軍立川飛行場をはじめ軍需産業が集まっていた多摩地域は空襲により大きな犠牲を出した。それから59年。今も残る戦争史跡を訪ね平和を考える見学会が3月27日、立川市公民館の主催で行われた。

写真：五来孝平

ところどころで崩落し危険でもある

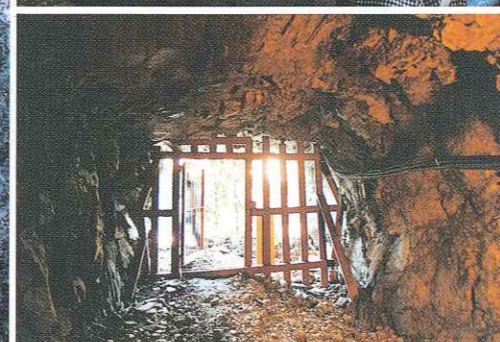
闇から浮かび上がった素掘りのトンネル



道路や住宅、畑に挟まれて掩体壕がひっそりと残る



なだらかな丘陵の下に
総延長4km以上の地下工場があった



参加したのは公募で集まった市民。朝8時半、中央公民館をバスで出発し府中市の調布飛行場掩体壕に向かった。掩体壕とは、帝都防空、本土決戦の虎の子というべき戦闘機を米軍の爆撃から守るために作られたカマボコ形のコンクリート製格納庫。調布飛行場の周囲に4カ所残っている。

「調布飛行場の掩体壕を保存する会」の方の案内でこのうち3カ所を回る。一応鉄筋コンクリート作りだが、いかにも急造らしく内部の鉄筋はむき出し。セメントも少なくところどころに砂利が見える。

再びバスで移動し、午後からは高尾駅と高尾山口駅の間に位置する浅川地下壕へ。「浅川地下壕の保存をすすめる会」の方たちの案内で、終戦までに二期、総延長約10km掘られたというトンネルのうち、地下工場として実際に使われた壕に入った。

昭和19年9月からわずか6カ月で完成させた突貫工事には多くの朝鮮人労働者が動員された。ダイナマイトで岩盤を崩し人力で土砂を運び出す過酷な労働。出来上がった幅4m、高さ3mのトンネルに工作機械が設置され、航空機エンジンが作られたが間もなく敗戦。

作られた当時は秘密のベールに包まれ、戦後は地元以外にはほとんど忘れ去られた戦争の遺跡が、無言のうちに平和の尊さを語り続けているようだ。

※2004年3月27日に行われた立川市公民館主催の学習事業「戦争史跡見学会」は、多摩てばこネット (<http://www.tamatebako-net.ne.jp/>) <多摩家の人々>でもご紹介しています。

吉岡 ひろさん(錦町)

錦町で長年制作を続ける女流彫刻家。少女時代から彫刻をこころざし、郷里の宮城県で木彫を学び、上京して彫刻家・木内克に師事。創型会に所属して活動する一方、立川、多摩地域の美術活動にも積極的にかかわっている。立川市民会館「アミューたちかわ」大ホールの大階段を上ったところにある女性像「北国の夏」を目にした人は多いはずだ。彫刻以外にレリーフも多く作り、日本芸術メダル協会理事でもある。確かな造形眼と少女のような詩情を胸に、制作意欲はますますさかん。

錦町ご自宅にて 写真：細江英公

かたこと

真夏のような暑さの翌日に雪にでもなりそうな冷たい雨が降ったり、日々の変化を喜んだり嘆いたりしているうちに季節は確実に移っていきます▼この号がお手元に届く頃は、すっかり濃さを増した樹々の緑がまぶしく陽に輝いているのでしょうか。それとも梅雨のはしりの雨につややかに濡れているのでしょうか▼またたちかへる水無月のなげきを誰に語るべき姿羅のみずえに花さけばかなしき人の目ぞ見ゆる(芥川龍之介)▼姿羅樹にたとえられる夏椿があちこちで清楚な白い花をつけ、紫陽花や花菖蒲も咲きはじめます。やがて桑の実も色づいてくるでしょう▼59年前の春から夏はどうだったのでしょうか 昭和20年、4月4日の立川空襲をはじめ終戦の15日まで多摩の各地が空襲を受け、多くの犠牲者を出しました。VIEWでは風化させてはいけない戦争の記憶を訪ねる試みをご紹介しました▼自然の長い時間に洗われなお残る記憶。多摩川さんぽの化石たちもそのようなものかもしれません▼大自然に比べたらちっぽけでも、人間だって地球上でたったひとりのかけがえのない存在です。障害のあるなしを越えて、そのかけがえのないひとりひとりをつなぐ手段。対談をさせていただいた三室秀雄先生が取り組まれているコミュニケーション支援ボードが立川から全国へ、そして世界へと広がってほしいと願います。(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMNET design factory
写真 五来孝平/中村 伸

えてびあん (C) 6月号

第22巻 通巻235号
平成16年6月1日発行
発行 えてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
編集人 芳賀敏博
発行人 加賀悦也
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

◆ タチカワ誰故草 ⑪ ◆
わが名医の妻の思

森 忠明

「医者なんてムナシイもんだよ。いくら延命してやったって、どの道みんな死んじゃうんだからな。そこいさや芸術は生き残る」。立川二中で同級生だった清水一雄は都内の大病院の外科部長だ。前記の言葉は、拙本を送ったことにたいしての礼電話である。たしかにみんな「死んじゃう」わけだが、心身の不快や苦痛を軽減してくれる名医は、プチ神様のようなものだろう。神や国手にムナシサは似合わない。

私が決めた(名医と呼ばれるための第一条件)に、「先生本人よりも、その奥さんが美しい菩薩みたいでなければならぬ」というのがある。森家のかかりつけだった故・田中実先生(小児科・内科)の奥さんも、先代天谷貞三先生(歯科)の奥さんも、映画『東京物語』における三宅邦子氏が東山千栄子氏のごとく、それは優しく美しい女人であった。

小学四年の真夏。柴崎町の田中医院で左足のウオノメを手術してもらっていた私は、激痛に堪えかねてキレた。「麻酔注射がぜんぜん効いてねえんだよー、へたくそだなー、こんなに痛えなら川野病院に行けばよかった!!」付き添いの愚母はへどもど恐縮、私の肩のあたりをギュッとツツ



挿画：野崎義成

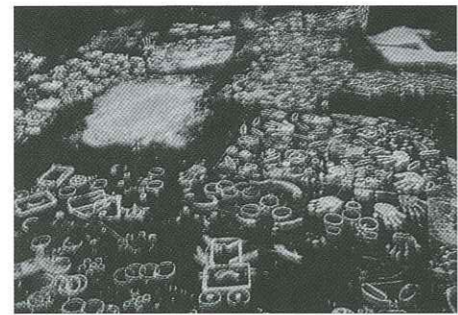
慈愛に満ちたかんばせでこうおっしゃった。「ごめんなさいね、もうすぐおわりますよ。ありったけの悪口をおっしゃってちょうだい。楽になりますからね」。そして純白のハンカチとガーゼで、ワルガキの汗と涙を手術終了まで押し拭きしてくださいだったのである。先代の天谷先生の奥さんも素敵だった。幼い私が先生の大事な商売道具(指)に噛み付き、ひどく傷つけた時、「引っこめるのが遅かったんでございますのよ」と微笑され、低頭する愚母を許し、ワルガキの頭を撫でた。

この原稿を書きだして、不図気になりだした。五十二年前の秋に脳腫瘍で死んだ姉(俗名 森順子 行年七才、と位牌にある)の脳は、今どうなっているのか。昭和二十七年九月、立川共済病院の医師たち懇請されて献じたのだった。さつき、医事課に電話したら調べてくれることになった。一時間後、私のケータイに返事がきた。「南棟2階の病理検査室に、顕微鏡観察用標本として、ございませう」。横山氏という事務次長が、やや厳肅な声でゆっくりと「ございませう」と言った瞬間、私は姉が「生きています」と言われたように錯覚、少し泣けた。私の姉とは思えぬほど、彼女は賢く可愛かったのである。

えてびあん流

おもしろかったね!
みんなの音楽祭

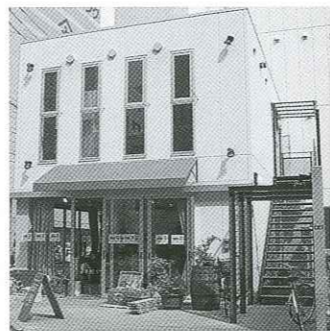
4月20日から25日まで昭和記念公園で開かれた「2004 たちかわみんなの音楽祭」は大盛況だった。立川口に設置された青色のテントの中で日替わりに行われるイベントは、どれも濃厚な内容。音楽あり、サーカスあり、アートあり、落語あり、人形劇あり、見て聴いて楽しく、参加するともっと楽しい。メインの25日には立川駅周辺、サンサンロードでもストリートライブが行われ、昭和記念公園は無料開放、オペラ歌手小濱妙美さんのソプラノ独唱や恒例の1000人コンサートなど、終日、音楽が溢れていた。



現代美術作家ディミトロヴァさんの「光のワークショップ」

チャレンジショップ
新規開店

立川での新規開業を前提に1年間格安でお店を提供する「チャレンジショップ・コラボ」(柴崎町)の顔が入れ替わった。一階はおしゃれな生活雑貨の店(EAST END)。スローな一日を過ごしたいとき、ホッとしたいとき、こんな雑貨を一つ持っていていいかなと思わせる雰囲気。古代のガラス、アフリカのアクセサリー、タイシルクのスカーフ、ハンドメイドの色鉛筆。商品の間からのぞくのは店主手作りの妖精人形。2階にはセルフサービス、ファストフード感覚、それでいて手作りソーセージが売り物の〈Brasseries 風馬〉。プラスリーというだけにピアレストランのよう。両者とも意欲満々だ。



この人この店 ⑪

いわし料理の
たかね

店主 永関孝敏さん

いわし一筋、曙町にお店を構えて21年が経ちました。緑川通り沿い、いけすのあるお店というわかりやすい。キラキラ銀鱗輝くいわしが群れて泳いでいます。「こだわって言えば、やっぱり鮮度でしょうね」と店主の永関さん。いわしは手開きっていいですよ。と聞けば、「鮮度が落ちてくれば手で開けますが、活造りは包丁でないとできません」ときっぱり。ピチピチのいわしは、お昼なら定番のランチが人気です。天ぷら、フライ、ハンバーグ、南蛮漬け、梅煮、それぞれに固定客がついているとか。温冷両方楽しみたい人には、親子重です。夜になるとさらにメニューは広がります。イチオシの活造りは980円、コース料理は3500円。いずれは店内をいわし博物館のようにしたいそうです。さぞかし海に親しんで育ったのかと思いきや、山梨県は八ヶ岳山麓高根町のご出身。「海はないんですけどね、いわしは好きなんですよ」—おいしいですね。



〒190-0012 立川市曙町2-17-5 杉田ビル1F
TEL 042-527-5958
営業時間 11:30~14:00 16:00~23:00
定休日 火曜日の夜



ランチのてんぷら定食 650円

写真：五来孝平

多摩エリアの情報
コミュニケーションサイト!
http://www.tamatebako-net.ne.jp/

常楽我浄
真如苑提供番組くじようくじようく
スカイパーフェクトTV 216ch、マイテレビ 84ch
土 曜 午前9時~9時15分
午後7時15分~7時30分
再放送/火曜 午前9時~9時15分
午後7時45分~8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。
立川に育てられて六十八年
真如苑
柴崎町1-2-13 Tel.527-0111(代)

ふれあい、さわやか
山梨中央銀行
立川支店
〒190-0011 立川市高松町2-16-13
TEL 042-526-1571

私たちは「と」のための会社です。
人と人、企業と企業、企業・商店とお客さま……
いろいろなコミュニケーションがあります。
私たち大廣社は、この「と」を的確に、迅速に、効果的に、
行なっている会社です。
と
大廣社は、企画デザインから
印刷加工までを自社で行っています。
PLANNING・DESIGNING
PROCESSING・PRINTING
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
TEL 042-527-1911 FAX 042-527-1949
E-mail info@daikousya.jp

連載の第1回に掲載した作品（一九九一年作）と同じ場所である。が、とうとうと流れる多摩川が大きく前面に広がる前作に對して、ここでは空が主役を占めている。蛇行する多摩川、遠景の白いビル群、大地と空をつなぎとめる鉄塔を取り入れ、いつか多摩川の空を描きたいと十年近くもあたたためていた作品である。色調はグリーン



「六月の多摩川」

2003年 20P

を基調に描き込んだということもあり、題名は完成後つけたような気がする。現在この付近は大規模な河川工事に変貌をとげつつあるが、多摩川の水流はやがて大海に、さらにはるか宙へと一体化し行く姿は不変である。大上段に構えず、これからも身近な多摩川風景を描き続けたい。